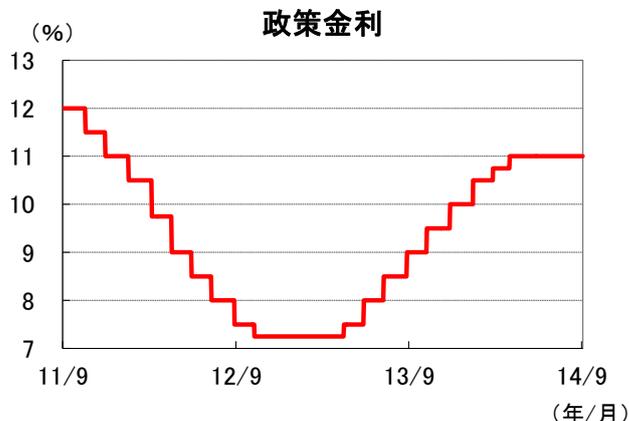


今日のトピック ブラジルの金融政策(2014年9月) 3会合連続で政策金利を据え置き

ポイント1 政策金利を11%に据え置き

全会一致、市場予想通りの決定

- ブラジル中央銀行(以下、中銀)は3日、政策金利を11%に据え置くことを発表しました。据え置きの決定は全会一致で、5月以来3会合連続です。
- ブルームバーグがまとめた事前予想では、54名のエコノミストのうち53名が政策金利の据え置きを予想(1名が0.25%の利下げを予想)しており、大方の予想通りの決定になりました。



ポイント2 景気と物価の両にらみを継続

物価は高止まり、景気は後退

- 8月前半の消費者物価指数は前年同月比+6.49%と、中銀の目標レンジ(年+2.5%~+6.5%)の上限近くの推移が続きました。先行きの物価上昇率も、高止まりが見込まれています。
- 4-6月期の実質GDP成長率は前期比▲0.6%となりました。前期(同▲0.2%、改定値)から2期連続マイナスの景気後退となりました。
- 中銀は、低迷する景気に配慮しつつ、物価上昇率の高止まりへの警戒から今回も高めの政策金利を維持したと見られます。

